



船釣りの作法

【連載】※月1連載

釣技
技女

其の十一 兵庫県・明石港出船

深く、速く、根掛からない。
明石のマダコ釣り
ゲーム性が高い理由。

午前5時、協定で定められた時間になると、周辺各港からマダコ船が大勢の釣り客を乗せて出船。ポイントに集結する

「明石のマダコ釣りテクニック」
船がポイント上を流れていくと、海底に着けた餌木（仕掛け）は船に引っ張られる。多くの場合釣り人から見て

船が緩やかに流れる場所だった。今回の主役・吉田昇平さんはとにかくマダコ釣りへの思い入れが熱いアングラ。その吉田さんが明石のタコ釣りの要点として繰り返し説明していたのが「船の流れる向き」と「餌木の動き」をイメージすること。そして止めることがあった。

この日、明石港の魚異が目指した釣り場は明石大橋の西、淡路沖の水深20メートル。明石のマダコ釣りは、まず根掛かるような場所を狙わない。根の間に広がる砂、砂礫、石交じりの土などの海底を、広範囲に流して行く。

夏場こそ水深10メートル台を狙つことがあるが、主に20～50メートル、深い所では70メートル台。またはそれ以深も狙う。つまり、関東に比べると感じて深い。

○吉田昇平 大阪湾をホームグラントに四季折々の釣りを楽しむ。テレガタチウオ、エキタコなど横浜的にアカリを出させて振付けていくアクティブな釣り日々研究している。

